

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	48	現在、お客様の状態に合わせ 楽しみや活躍の場を個々に作り出しているが、今後 加齢による状態変化に合わせた 楽しみを共に見つけ出していくことが課題である。	活力を引き出す楽しみごとや活躍の場面を通して張り合いのある心豊かな暮らしを、支援させていただく。	状態変化に習慣、希望、できる力を踏まえ 何が役割や楽しみごとになり得るか把握する。家事仕事、嗜好品、楽しみごと、気分転換など 様々な要素を提案していただき 生活に取り入れていく。	12ヶ月
2	2	地域との交流で 行事を通じてのつながりはあるが、日常生活のなかで気軽に声をかけられるようなお付き合いができていない。	日常的に地域の人々とふれあい、共に暮らす地域住民の一員として活動や役割を積極的に担っていく。	日頃から散歩や買い物などに出かけ、挨拶を交わしたり立ち話をしたり自然なお付き合いができるよう 積極的に戸外へ出て行く。また、緊急時、災害時の相互援助や連携体制にも発展させていきたい。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。